

五夕 日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町新田十四番地... 印刷部 石城郡平町新田十四番地... 電話 一四七五

五人組の學校教師 學校に藝妓を連れ込む 五十圓を恐喝さる

平町某學校教師五名は平町新田町に來て藝妓をあげて遊興しそのまゝ藝妓を學校内に連れ込んだ事實を知つた有志は眉をひそめてゐるが、この事實を知つた某は新聞記者と稱して五十圓を恐喝したらしいので其筋で取調べを開始した。

小名濱町會 二日召集

の筈だつた小名濱町會は起債五萬五千圓の借入先未決定のため延期されてゐたがいよいよ七日午前九時から開會議案は小學校舎擴張改築算五萬六千圓の決議、縣へ工事着工認可申請の件、借入先を東京富國保險相互會社から双葉郡大久村で品評會を開くこと決定するの件等である。

小名濱商港修築の 寄附問題行惱む 炭礦でも承諾を躊躇す

二十餘萬圓の地元負擔問題で一商港完成により多大の利便を受噸運を來し例の六十萬圓増額行ける磐城、入山、古河の三大炭礦の狀態にある小名濱商港修築から十萬圓以上の寄附を仰ぎ下慎重考慮を拂つてゐるが、現たすべく鈴木町長は種々な方法在の町財政は既報の如く五萬圓で各炭礦へ交渉を進めてゐるが以上の負擔能力がないので將來炭礦自身亦永らくの不況に祟らぬも銚子東八分の一、北四百七

濱三郡木炭

本炭縣管轄問題に對し縣および木炭業者主張の折衷案たる一ヶ年延期案に合流した濱三郡木炭同業組合幹部は業者の猛烈な反對に逢ひ再び本來の主張で

水道料金滞納 十三日公賣處分

平町水道部では十三日午後一時十五海里海濱においてバチ三本から平町役場に於て昭和七年度「カチキ一本、メカチキ八本、水道料金滞納者百五十六人、二百七十圓九十三錢の差押え物」の公賣を行ふ事になつたが、時節柄なので思ふやうに賣れるかどうか氣遣はれてゐる。

農産物品評會

山田聯合農産物品評會は九日から十二日まで植田町役場に開催するが、十二日には田村郡篤農家宗像利吉氏の講演がある。

磐城丸の鮪漁

中の縣立小名濱試験場指導船磐城丸から二日試験場に達した無修を徹底的に行ふべく失業登録すしか働けない期定となるのでなすしめ連日百餘人を使用し今更の如く期待外れにガツカリ

ある絶對反對に立歸つて初志の貫徹に熱烈な運動を續けてゐるが、全縣會議員に對し聲明書に左の陳情書を配し問題の諒解に努めてゐる。

陳情書 本組合は聲明書の如く組合幹部に於て縣及木炭業者主張の折衷案として便宜一ヶ年延期案に合流したるも木炭業者眞劔の反對に逢ひ本來の主張に立歸り再び縣管轄反對を陳情致すの余儀なき立場に付吾人の窮境御察察を垂れられ眞に木炭業者を救ふの途を開かるる様懇願の儀御採用被下賢明なる各位の産業自治保護其他の御見地より該豫算案御審議の際に特別御同情を賜り御登議被下度茲に懇願陳情致候也 濱三郡木炭同業組合 組長 早川清久

棋聖會入賞者

關基同好者より成る棋聖會では四日午後一時から南町星眼科醫院で大會を開き左の如く入賞、一、星、二、岡田、三、根本、四、佐藤、五、原野、六、長島

平區取扱件數

裁判所及び平支部本年度十二月現在の取扱件數は左の如くで昨年と比較すれば大差ないが、民事件數が二十八件増加してゐるのみである。

匡救事業だけでは 恩惠の薄、内郷村 失業者の期待外れる

石城郡内郷村は我國第二の大村四ヶ月を要すべく一日七八十鐘といはれてゐるだけに失業業者も平均として炭拾ひなどより遙に亦一十數百名を數へてゐるので有利で非常に喜ばれてゐるが、今回匡救事業として一萬九千圓これを一日當りに計算して見るの割當額に對し同字の白水川改と二百二十日間に僅に一ヶ月足ら修を徹底的に行ふべく失業登録すしか働けない期定となるのでなすしめ連日百餘人を使用し今更の如く期待外れにガツカリ

このふ豊間の火事 祈禱者の燈明から發火

四日午前十一時頃豊間村大字蕪字下町改井ツメ(五〇)方から發火同家を全焼して鎮火したがツメは祈禱者で同日も祈禱中燈明の蠟燭の火が幣束に燃え移り大事に至つたものである。

依米品評會

平町外十ヶ町村聯合會の依米品評會は來春日一月七日から三日間平野前農現像を示してゐる。

貨切自動車が一二十間の斷崖から墜落

三日午後五時頃石城郡植田町大を頼みなばかりか妻の全財産小濱地内縣道で同本町自動車營業鈴木善兵衛運轉手蛭田徳次郎(三三)が乗客四名を乗せて貨切自動車運轉中、一トノボ二本、鮫五本の漁獲があ

妻子を捨て 酌婦に迷ふ

平町鎌田大工職片寄半四郎内縁の妻伊藤やい(二三)は二日平野人事相談所に夫の無情を訴へ離縁を願ひ出たが、夫半四郎は三から外出には必ず錠をして出て行く人の子供まである仲を同町某料理店の酌婦にうづをぬかし家政

業倉庫におい開てく。 植田の簡易保險 植田郵便局の簡易保險契約は一千四百餘口に達し毎日集金に努めてゐるが、一般經濟界の不況特に同地方の各炭礦の不況に祟られ成績ははしくない有様であるが、貯金といふ考へから他の支拂は後廻しにしても拂込む程で同町の電燈會社の集金員等は簡易保險集金後に集金に廻る場合等は一日に僅數口しか出來ないので遂に郵便局の簡易保險集

コソ泥跋扈 平町の名物赤井緑蔵が道行く人の肌を針の様に刺す寒さが一日一日と訪れて來たのと、不況の年の瀬が迫つて來たので同町地方には最近コソ泥の横行甚だしくこれが警戒に平野では小田部署長以下全署員が頭を悩ましてゐるが、一日から年末非常警戒を行ふ事になつたので三萬の全町民は枕を高く寝る事か出来るといふ幸福を得た譯である、然し最近のソソ泥は空巢鼠の類が多いから外出には必ず錠をして出て行なれたいと平野では全町民に注

出賣大服供子三五七

お嬢様、お坊ちやまの可愛らしい御祝用子供オバーを種々取揃へ店頭に陳列して御座ります。

- ◆女児服 色メロ 二・一〇〇ヨリ
- ビロード 二・三〇〇ヨリ
- ◆男児服 スコッチ 一・九〇〇ヨリ
- 茶メロ 三・四〇〇ヨリ
- ◆男女柄オバー 二・〇〇〇ヨリ
- ◆メルトニオーパー 二・六〇〇ヨリ

店服洋やかふ

番802話電 目丁三平

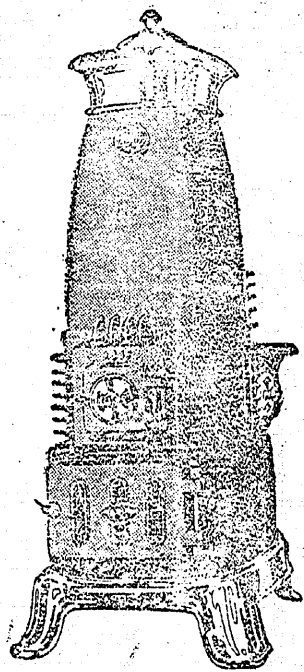
平館割引券

平町土橋



二十銭券 一枚十五銭 電話四八八九

嚴冬の征服者 福祿ストロップ 戸毎に福祿



四海は常春 電話三七七番へ カタロク御申越下さい 早速持参致します。

福祿ストロップ 福島縣一手販賣 平停車場前 阿部石炭店

長谷川 陽胃

内科 専門 腸十二指腸病 腸胃病 胃腸病 皮膚病 専門 院 醫科 腸胃病 胃腸病 村松 平町南町

大痛症 大痛症 大痛症

磐城無盡

大痛症 大痛症 大痛症



店商屋釜

秘傳腫物湯

のんで効く はれ物の妙薬 主一、面疔、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ、耳炎、鼻のおでき、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前後、効一等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療剤なり 定價 五十銭 七十銭 一圓十銭 一圓五十銭 特約店 平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店 植田町 松本薬店 富岡町 莊野薬店 湯本町 岩瀬屋薬店 茨城県下孫 磯野健生堂 腫物湯製劑所

難波醫院

内科 醫學博士 難波 睦 一般 平町大町新川端 電話(五〇二番)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科専門 病室完備、自炊の便あり 平町南町 大和田醫院 電話一七〇番

かまぼこ

折詰仕出し 御惣菜用、つま揚、吉原揚

平町二丁目 藤市蒲鉾店 電話三〇五番

十二月二十日ヨリ

長谷川齒科醫院開業

齒科一般専門 日本大學 齒科醫學士 長谷川四郎 口腔外科(問) 齒科醫學士 四倉町字仲町(仲須渡通り) 電話一四四番

高久病院

平町田町(電話五二三番) 醫學士 高久 忠 新潟醫學士 赤羽 雄 藥劑士 佐竹 菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平看護婦會

會長 清野 キヨ 平町字南町(電話三〇七番) 看護婦派出の需めに應じます

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス 呼吸器病バカリデハアリマセン 平町南町六五改(電話一八一番)

川井内科診療所

醫學士 川井 重之 女醫 川井 安子

内科 小兒科 (入院應需) 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話平國五〇七番